

# 「ゼロカーボンシティ」を掲げる考えはあるか

町長 推進室を設置し、国に職員派遣を行う



あびこひろまさ  
我孫子 洋昌 議員

## 新年度予算編成に向けて

質問

**来** 年度は谷町政の最終年度です。公約の達成度と予算編成方針を伺います。

**町長** 9割以上の項目が推進されていると考えます。新年度は、基本的には、持続可能な地域社会の構築に向け、これまでの取り組みを継続し、アフターコロナ対応、脱炭素社会の構築など新たな対策にも取り組み、「幸せ日本一のまち」をめざしたいと思っております。

**再質問** 脱炭素社会に関して、公約に「地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入拡大を図る」とあります。改めて「ゼロカーボンシティ」を掲げ、公約にある「再生可能エネルギーの導入拡大」を推進する意思について伺います。

**町長** 「ゼロカーボン」実現に向けた推進室と、全課長による推進本部を設置する考えです。また、国の機関に職員を1名派遣して、研修および情報収集等も図りたいと考えます。

## 教育行政方針について

質問

**質問** 来年度の教育行政方針で、義務教育のあり方についての施策を伺います。

**教育長** 小中学校の連携は、学びや生徒指導のつながり、家庭と地域の関わり、教職員の協働等による教育活動が大切です。町はこれらを推進するために「地域共育ビジョン」をベースに「義務教育9年間でめざす姿」を学校経営研究会（研究会）と学校運営協議会（協議会）において策定しています。

今後は、協議会が教育委員会、校長と連携し、地域学校協働活動を進め、地域一丸で下川の子供たちを育てていくシステムを構築、実践したいと考えます。

**再質問** 地域の思いを教育活動と連携させるための検討研究、意見交換、情報共有が大事だと思えます。

**教育長** 協議会を中心に、もつと地域の思いを受け止める学校になっていただき、小中連携の土台になるよう進めたいと考えます。

## SDGs 未来都市計画

質問

**下** 川町は、SDGs 推進のトップランナーだと考えられています。SDGs については「あらゆる機会に進捗状況などを町民に報告」という議会答弁もありましたが、現時点の進捗状況はどうなっていますか。

**町長** 進捗状況は町民会議や評議委員会、各事業については総合計画審議会などに共有しています。

**再質問** 広報誌やホームページ、記者発表など色々な形で町長から聞くことで、町民や下川に注目している方々もSDGsが進んでいる、または後回しにした項目があると実感できます。

**町長** 今後、より発信力を高めて、住民への周知、あるいはまた、取り組んでいただいている方々の共有などで図りたいと考えます。

**再質問** 第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略に「幸せ指標」の記載があります。「幸

せ日本一のまち」をめざす町長には最も相応しい指標であり、これを掲げどこに様々な施策に取り組むのだと思いますが、第2期総合戦略ではこの記載がありません。この点について町長の考えを伺います。

**政策推進課長**

「幸せ」の定義が難しいという部分もあり、第2期戦略に入れていませぬが、現在、「ありがたい姿」のゴールへ向かっての指標の研究段階です。

**再質問** 「ありがたい姿」に描かれた様々な目標設定は、町民の議論から導き出された、下川町が達成できると考えられた未来像です。

そこに向かって町長がリーダーシップを発揮し、職員が充実感を抱いて、ワクワクしながら町民や様々な方々と未来を共有して仕事に励む姿を期待します。

**町長** SDGsという社会潮流の中で、しっかりと地に足を付けながら、今後も計画を立て、そして取り組みを進めていきたいと思えます。